特集

市民とハウステンボス

ハウステンボスは、単なるテーマパークではなく「自然の中で快適に生活できる街づくり」を理念とする環境都市を目指しています。開業から10年を過ぎた今では、その考えに賛同する多くの人々が訪れ、市民とのかかわりも深くなっています。

少しでも力になりたいとボランティア活動 ～ハウステンボスサポーター「フリーント」

●若者から高齢者まで、さまざまな人が参加

ハウステンボスサポーター「フリーント」（オランダ語で友達の意味）は、平成13年10月に発足。来場者への場内の施設やイベントの案内、カメラのシャッターサービス（写真撮影）などをしているボランティアグループです。

現在、佐世保市を中心に、県内各地、遠くは北九州市や福岡市からも参加しています。20歳代から70歳代まで約百人の会員の中から、1日に約10人が活動しています。

中には、手話ができる人、消防士などもいて、何かのときに役に立てばと、手話や応急手当などの勉強会を開くこともあるそうです。

観光客へのシャッターサービス（写真撮影）

●旅の思い出づくりのお手伝い

あるサポーターは、同じ観光客に何日も付き添って、場内の道案内をしたこともあったとか。

少しでも旅の思い出作りの手伝いになればと、毎日活動しています。

ハウステンボスサポーター「フリーント」会長の津村信行（つむらのぶゆき）さんに、ボランティア活動やハウステンボスへの想いを語っていただきました。

津村信行さん(ハウステンボス町在住。69歳)

●ハウステンボスが好きだから、苦労だとは思いません

全国各地のお客さんと接することができ、お客さんに喜んでもらうことが私たちにとっても喜びとなります。そして、ハウステンボスの良さを少しでも知ってもらえたらと思います。

ボランティア活動は、自分も楽しみながらやっていますので、苦労と思ったことはありません。それは、ハウステンボスサポーターに共通の意識だと思います。

皆さん、ハウステンボスを本当に好きな人たちばかりです。

また、場内を歩いて回ることは、身体的にも精神的にもいいんですよ。

●「市民の庭」として散歩のつもりで気軽に来てください

たくさんの応援を受けることで、来場者が増えてにぎやかになってくれれば、私たちハウステンボスサポーターとしてもうれしく思います。

これまでは、子どもの遊び場が少ないなどの理由で、「一度行けばいいや」という人もいたと思います。しかし、ハウステンボスの素晴らしい街並みと豊かな自然が共存する姿は、佐世保市民の財産だと思います。

市民の皆さんが、ハウステンボスにもっと親しみを感じて、「市民の庭」という感覚で、散歩がてらに来てくれたらと思います。

運河の生物の観察やドングリ拾いを体験

ハウステンボス環境体験学習

市では、佐世保市の文化や自然を理解し、人と自然の共生の必要性を考えてもらおうと、小学4年生を対象に「ふるさと文化・環境発見事業」を実施しています。

ハウステンボスの協力で、昨年10月実施された江上小学校の環境体験学習の様子をお知らせします。

パレスの森でドングリを拾う子どもたち

アレキサンダー広場では、いろいろな植物を観察しました。

●パレスの森でドングリ拾い

パレスの森には、たくさんの種類の木々があり、小さいものから大きいものまでいろいろな大きさのドングリを見つけることができました。

●運河にすんでいる生物を観察

子どもたちは、運河にすんでいる「アカニシ」や「アオウミウシ」、「クモヒトデ」などを捕まえて観察し、ハウステンボスの生物について学びました。

●環境体験学習で学んだこと

ハウステンボスは、生き物や自然と一緒に人間が生活できる街を目指して、たくさんの努力をしていることが分かりました。

3月17日の「10万人の県民がハウステンボスに行こう！」県民運動佐世保地域決起大会で、ハウステンボスの環境体験学習について発表した、江上小学校5年生（当時4年生）の野田正彬（のだまさあき）君、上柿元智美（かみかきもとさとみ）さん、合田智紀（ごうだともき）君に環境体験学習の感想などを聞きました。

左から野田正彬君、上柿元智美さん、合田智紀君

「環境体験学習では、運河の生物や植物などの観察ができてよかったです。珍しい鳥や昆虫がすむ自然いっぱいのハウステンボスが、不思議ワールドみたいで好きです」と野田君。

上柿元さんは「ハウステンボスのドングリは、今まで見たことがないくらい大きくてびっくりしました」と話しました。

合田君も「普段は、あまりドングリ拾いはしません。環境学習のドングリ拾いは、いろいろなドングリがあって面白かったです」と話しました。

ハウステンボスは自宅から近いこともあって、3人はそれぞれ年に5回～10回ほど遊びに行っていますが、環境体験学習で今まで気付かなかったハウステンボスを知ることができたそうです。

「ハウステンボスは好きですか」との質問には、3人とも元気よく「はい」と答えてくれました。